

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月29日

計画の名称	北部九州地域への来訪促進戦略（広域的観光活性化）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	大分県											
計画の目標	九州新幹線の全線開業（H23.3）に加え、東九州自動車道（椎田南IC～豊前IC 平成28年4月開通）の開通を契機に、九州道、大分道、東九州道の広域観光周遊ルートが形成され、移動の効率性が進み、全国各地から北部九州地域（福岡県、大分県）への観光客の増加が期待される。 また、海外からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点（高速道路IC・新幹線駅・空港・港湾等）と景勝地や滞在型観光施設である温泉街などの観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,978	A	3,978	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	【福岡県・大分県 共通目標】 延べ宿泊者数2,069万人(H25)から2,317万人(H31)に増加（248万人の増加）（12.0%増） 【福岡県・大分県 共通目標】延べ宿泊者数 (九州北部地域内の宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	2069万人	2219万人	2317万人
2	大分県内の延べ宿泊者数を671万人(H25)から689万人(H31)に増加（18万人の増加）（2.7%増） 大分県内の延べ宿泊者数 (大分県内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	671万人	683万人	689万人
3	大分都市圏域の延べ宿泊者数443万人(H25)から456万人(H31)に増加（13万人の増加）（2.9%増） 大分都市圏域の延べ宿泊者数 (大分都市圏域の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	443万人	452万人	456万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
中間評価：平成31年12月実施予定 事後評価：平成33年12月実施予定														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)三重野津原線 中 原工区(1-A1-2)	現道拡幅 L=0.56km	豊後大野市						451	-	
		大分都市圏																	
	A11-002	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)宇目清川線 鉢屋 工区(1-A1-3)	現道拡幅 L=0.57km	豊後大野市							37	-
		大分都市圏																	
	A11-003	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)飯田高原中村線 二俣木工区(1-A1-4)	現道拡幅 L=0.9km	九重町							330	-
		大分都市圏																	
	A11-004	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)菅原戸畑線 慈恩 の滝工区(1-A1-5)	現道拡幅 L=0.7km	玖珠町							485	-
		大分都市圏																	
	A11-005	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)四浦日代線 仙水 工区(1-A1-7)	現道拡幅 L=1.05km	津久見市							416	-
		大分都市圏																	
	A11-006	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)庄内久住線 塩手 工区(1-A1-8)	現道拡幅 L=0.96km	竹田市							550	-
		大分都市圏																	
大分都市圏																			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)緒方大野線 両家 工区(1-A1-9)	現道拡幅 L=1.6km	豊後大野市						387	-	
		大分都市圏																	
	A11-008	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)日之影宇目線 南 田原工区(1-A1-14)	現道拡幅 L=1.08km	佐伯市							335	-
		大分都市圏																	
	A11-009	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)宇目清川線 中津 無礼工区(1-A1-15)	バイパス L=0.48km	豊後大野市							256	-
		大分都市圏																	
	A11-010	港湾	一般	大分県	直接	大分県	重要港 湾	建設	別府港 港湾環境整備(1 -A1-17)	緑地 A=1.2ha	別府市							212	-
		大分都市圏																	
	A11-011	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)玖珠山国線 松信 工区(1-A1-19)	バイパス L=0.9km	玖珠町							101	-
		大分都市圏																	
	A11-012	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(主)別府一の宮線 長 者原工区(1-A1-22)	現道拡幅 L=4.96km	九重町							323	-
		大分都市圏																	
大分都市圏																			

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-013	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府県道	改築	(一)小挾間大分線 朴木工区(1-A1-23)	現道拡幅 L=0.81km	由布市						85	-	
		大分都市圏																	
	A11-014	提案	一般	大分県	直接	大分県	-	推進事業	おもてなし観光案内標識等整備事業(1-A1-28)	観光案内標識等 N=5基	大分市・由布市						1	-	
		大分都市圏																	
	A11-015	提案	一般	大分県	直接	大分県	-	推進事業	おもてなし観光案内標識等整備事業(1-A1-29)	観光案内標識等 N=47基	日田市・中津市・玖珠町・九重町						9	-	
										小計							3,978		
										合計							3,978		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大分県土木建築部道路建設課において評価を実施した。	令和4年3月
	公表の方法
	大分県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>事業の整備促進により、北部九州地域における交通拠点（高速道路IC・空港・港湾等）と観光施設との相互アクセス性が向上し、観光客の増加に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A11-005（一）四浦日代線 仙水工区（部分供用）津久見ICから拠点施設『つくみイルカ島』へのアクセス性が向上（幅員狭小による観光バス等大型車の離合困難箇所が解消（W=5.0m W=7.0m））し、観光客の増加に寄与した。 ・A11-004（一）菅原戸畑線 慈恩の滝工区 拠点施設『道の駅 慈恩の滝くす』と拠点施設『九重"夢"大吊橋』相互のアクセス性が向上（幅員狭小による観光バス等大型車の離合困難箇所が解消（W=5.0m W=6.5m））し、観光客の増加に寄与した。 ・A11-010 別府港 港湾環境整備事業 別府港北浜地区において、緑地面積が1.1ha増加したことにより、臨港地区周辺の地域住民や観光客、港湾利用者が集う賑わいの空間が創出できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
A11-001、A11-003、A11-005、A11-006、A11-007、A11-008については、事業期間内に完了することが出来なかったため、引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、北部九州地域における交通拠点と観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	九州北部地域内の延べ宿泊者数 2,069万人(H25)から2,317万人(H31)に増加		
	最終目標値	2317万人	・東九州道(北九州～宮崎市間)全線開通(H28)、中九州横断道路(朝地IC～竹田IC間の部分開通)(H31)により、福岡県と大分県間の広域観光周遊ルートの整備が促進された。広域連携事業(観光)の基盤整備により、広域観光周遊ルートから各観光地へのアクセス性が向上し、九州北部地域の観光客増加に寄与した。参考【福岡県】拠点施設 門司港レトロ地区：32万人増(H25:221万人、H29:253万人)【大分県】拠点施設 別府温泉の宿泊者数：9万人増(H25:236万人、H31:245万人)
	最終実績値	2832万人	
2	大分県内の延べ宿泊者数 671万人(H25)から689万人(H31)に増加		
	最終目標値	689万人	・東九州道(北九州～宮崎市間)全線開通(H28)、中九州横断道路(朝地IC～竹田IC間の部分開通)(H31)により、福岡県と大分県間の広域観光周遊ルートの整備が促進された。広域連携事業(観光)の基盤整備により、広域観光周遊ルートから各観光地へのアクセス性が向上し、大分県の観光客増加に寄与した。また、大分県内ではラグビーワールドカップ2019開催や大分空港におけるティーウェイ航空(韓国)の国際定期便の増便(H29)などにより、国内外から大分県に観光客が訪れた。参考【大分県内】拠点施設 別府温泉の宿泊者数：9万人増(H25:236万人、H31:245万人)、大分空港の利用者数：33万人増(H25:165万人、H31:198万人)
	最終実績値	790万人	
3	大分都市圏域の宿泊者数 443万人(H25)から456万人(H31)に増加		
	最終目標値	456万人	・東九州道(北九州～宮崎市間)全線開通(H28)、中九州横断道路(朝地IC～竹田IC間の部分開通)(H31)により、福岡県と大分県間の広域観光周遊ルートの整備が促進された。広域連携事業(観光)の基盤整備により、広域観光周遊ルートから各観光地へのアクセス性が向上し、大分都市圏域の観光客増加に寄与した。また、大分都市圏域周辺において日本ジオパークの1つである『おおいた姫島ジオパーク』認定(H25)や神仏習合文化『六郷満山』の開山1300年関連行事(H31)などもあり、全国各地から大分都市圏域に観光客が訪れた。参考【大分都市圏域】拠点施設 由布院温泉の宿泊者数：32万人増(H25:68万人、H31:100万人)、拠点施設大分マリーンパレス水族館うみたまご：2万人増(H25:5.2万人、H31:7.2万人) GW期間中入場者
	最終実績値	521万人	